

令和 2 年 3 月 23 日  
日本原子力研究開発機構  
核燃料サイクル工学研究所  
再処理廃止措置技術開発センター  
技術部 品質保証課

試運用フェーズ 3 チーム検査実施後の振り返り  
(BQ0010「品質マネジメントシステムの運用 (PI&R) 検査ガイド」)

令和 2 年 2 月 25 日 (火) から 2 月 28 日 (金) において、チーム検査「BQ0010 品質マネジメントシステムの運用 (PI&R) 検査ガイド」の試運用 (チーム検査) を実施頂きました。当初は 3 月 16 日 (月) から 3 月 19 日 (金) も予定されておりましたが、新型コロナウイルスの感染が流行している状況から、中止となりました。

当初予定 8 日間に対して 4 日間ではございましたが、再処理施設のみならず機構大での現状の QMS 活動に対し、新検査制度の本運用に向けてポイントを押さえたご指摘やアドバイスを頂く等、当検査ガイドの視点や品質管理基準規則の要求事項等について理解を深めることができ、大変貴重な機会でありました。

さて、試運用を終え、受検側の意見を以下のとおり提出いたします。

- 品質マネジメントシステムの運用 (PI&R) 検査を受ける主体は当センターであっても、理事長マネジメントレビューや原子力安全監査 (内部監査) は機構本部や研究所が関係することから、受検準備に当たっては関係者に対し質問回答や検査への同席に係る調整が必要になります。このため、事前に頂く検査スケジュールにつきましては、日程の他に具体的な検査項目についてもお知らせ頂ければと思います。
- ホワイトボードを用いた質疑応答につきまして、効率的に情報共有ができる反面、手書きによる書き直しのしにくさ等から、後から文書を確認してご質問の意図を十分にくみ取れていない点がいくつかありました。今後は、パソコンやプロジェクター等を活用し、文書を修正しながらの情報共有も有効かと考えます。

以上